

● 診療科の特色

1. 脳・脊髄、末梢神経、筋肉の病気を内科的に診断・治療をしています。脳神経外科と共同で2019年10月より一次脳卒中センターの認定を受け、9A病棟にSCU4床を作り、rt-PA治療を含めた脳卒中急性期治療に対応しています。さらにパーキンソン病/パーキンソン症候群、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、重症筋無力症といった神経難病や認知症の診療治療(免疫グロブリン大量療法、免疫吸着療法含む)、脳炎・髄膜炎といった感染症、てんかん、ギラン・バレー症候群やCIDPの治療、眼瞼痙攣、顔面痙攣、痙性斜頸、痙縮に対するボトックス治療、PSG検査を導入しCPAPによる睡眠時無呼吸症候群の治療、Reveal LINQを使った心房細動検出等を行っています。
2. 近年、自己免疫性疾患(多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症など)に対する新たな治療法が次々と開発されています。これらの新規治療に関して積極的に情報収集し、診療に還元できるようにしています。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数 393名

	疾患	患者数
1	脳卒中(脳出血、TIAを含む)	126
2	パーキンソン病/パーキンソン症候群	30
3	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)/MMN	45
4	てんかん	44
5	筋萎縮性側索硬化症	10
6	ギラン・バレー症候群	6
7	重症筋無力症	7
8	睡眠時無呼吸症候群	11
9	多発性硬化症/視神経脊髄炎	6
10	髄膜炎/脳炎	18

● 研究業績

学会発表

- 1) 神経免疫疾患セミナー 2024年10月17日
奈良井 恒

講演会・座長

- 1) 御津医師会学術講演会 2024年5月21日
奈良井 恒
- 2) 御津医師会学術講演会 2024年9月10日
奈良井 恒